



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2019 8/31

Volume

49

公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び
開学20周年記念式典挙行了しました

- 3P | トピックス/コラム
地域連携センターについて
- 4P | 高大連携・地域貢献
オープンサイエンスパーク千歳を
開催しました
- 5P | 高大連携・地域貢献
安平町、恵庭市、苫小牧市の
中学校3校の生徒さんが
本学を見学しました
- 6P | 入試情報
2020年度入試日程
- 6P | 入試情報
インターネット出願について
- 7P | 財務情報



公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び 開学20周年記念式典を挙行了しました

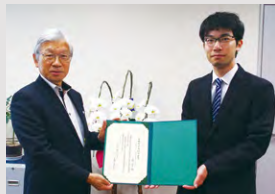
公立大学法人公立千歳科学技術大学設立及び開学20周年記念式典を6月8日(土)本学体育館にて挙行了しました。始めに、開学から公立大学法人化までの20年の歩みを映写しました。その後、山口幸太郎千歳市長、川瀬正明理事長・学長から式辞があり、続いて、来賓を代表して和田義明衆議院議員、池田真紀衆議院議員、佐藤哲夫北海道石狩振興局長、古川昌俊千歳市議会議員よりお祝いの言葉をいただきました。記念式典の終了後、本学食堂にて記念祝賀会が開催されました。



令和元年度慶応工学会給費奨学生に 採用されました

大学院生の大滝晋平さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年 下村研究室所属)が、令和元年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用されました。

7月29日(月)本学において給費奨学生の伝達式を執り行い、川瀬学長より給費奨学金授与と証書を授与いただきました。この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1ヶ年支給されます。採用された大滝さんから、一層研究活動に力を入れていきたいと抱負が語られました。

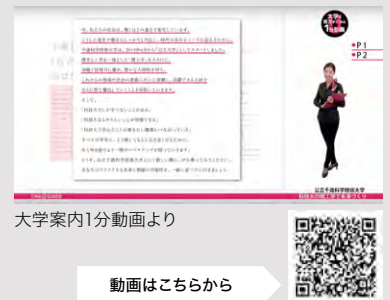


大学案内・1分動画が完成しました

2020年度版「大学案内」が完成しました。公立化となり新たなスタートを切った公立千歳科学技術大学の情報が満載です。大学や学科選び、将来について考える際に、ぜひご活用ください。また、この大学案内の内容を1分にまとめた動画が、本学HPまたはYoutubeにてご覧いただけます。



大学案内表紙



大学案内1分動画より

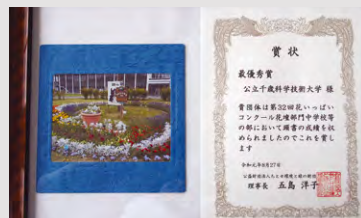
動画はこちらから



第32回花いっぱいコンクールにて 最優秀賞を受賞しました

8月27日(火)、菜園サークル(代表:松森一、21名)が公益財団法人ちとせ環境と緑の財団主催の「第32回花いっぱいコンクール花壇部門中学校等の部」において最優秀賞を受賞しました。

審査委員からは、「研究棟前の花壇のデザインがすばらしく、曲線を描いて植栽されたシロタエギクが斬新で、周りの花を引き立てています。全体がきれいにまとめられています」と講評をいただきました。



千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学は、昨年度における電力量やLPG量の削減などの環境にやさしい取り組みが、千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。認定証の有効期間は、令和元年7月1日から令和2年6月30日までとなります。今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



山口市長が「千歳学」の講義を行いました

本学では今年度より千歳市の地理、歴史、産業、暮らしなどを学ぶことを通じて現代社会の位置づけや課題に気づき、将来のありようを考えるため、学部1年生(251名)を対象に「千歳学」を開講しており、5月27日(月)山口幸太郎千歳市長が講義を行いました。市長の熱心な講義に学生達は真剣な眼差しで受講しました。



夢ナビライブ2019に参加しました

高校生を対象とした「夢ナビライブ2019」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問し、大学について説明をうけることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまとったイベントです。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井 賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者ならびに高校教員が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受け、質問をしたりしていました。各会場の詳細は以下のとおり。

- 6月8日(土)東京ビックサイト 来場者:32,692名
- 7月20日(土)ポートメッセなごや 来場者:19,884名
- 7月24日(水)インテックス大阪 来場者:26,432名
- 10月5日(土)夢メッセみやぎ(※参加予定)



コラム 第1回

地域連携センターについて

地域連携センターは、公立千歳科学技術大学の理工系の研究成果を通じ、地域課題解決を図ることを目的とする「スマートネイチャーシティちとせ構想」(SNC構想)を推進する機関として、大学内研究実験棟に設置されました。同センターでは、これまで大学が培ってきた光科学やシステム基盤技術をもとに最先端のICT応用技術を融合させ、地域課題を解決する役割を担っています。同センターが行う主な事業としては、次の5つです。

- ①センター自主事業 公益性の高い地域課題を解決するために事業を行います。
- ②研究プロジェクト 大学が事業主体となるSNC構想に位置付けている事業を行います。
- ③受託研究、共同研究等 ④技術相談 ⑤イベント協力等

また、同センターには、地域課題について相談があった場合の相談窓口になり、企業等からの技術相談、受託研究等の本学教員との橋渡し役を担う産学官連携コーディネーターが常駐します。このコーディネーターは、積極的に地域に赴き、様々な地域課題解決に向けて取り組みます。さらに、同センターにおいて市内の高等教育機関や経済団体などと連携ネットワークを構築し、地域課題解決に向けて様々な機関と連携し、取り組んでいきます。



地域連携センター長 山本 由明 教授

スマートネイチャーシティちとせ構想

「SNCちとせ」とは、Smart Nature City ちとせの略で、千歳市がもつ「豊かな自然がもたらす生態系サービス」(水・緑・温泉)を生かした“持続可能なまちづくり”に向けて、様々なステークホルダーと連携し、観光、環境保全、教育などの分野において千歳市が抱える課題を抽出し、公立千歳科学技術大学が持つICTなどの科学技術の活用により、解決を図る構想です。2030年までに国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)のように自然環境との共生を可能にする持続可能な循環型地域として、『スマートネイチャーシティちとせ』構想を実現・展開し、自律的好循環を目指した地域創生へと繋げていきます。

オープンサイエンスパーク千歳を
開催しました

第1回

8月2日(金)、サケのふるさと千歳水族館学習室において、今年度第1回目のオープンサイエンスパーク千歳「パッケージングからインバウンド、国土強靱化まで～生態系サービスがもたらす、持続可能な農業とインバウンド～」を開催しました。盛夏の中、産業界、行政、市民を含む約50名が参加しました。

元滋賀県立大学副学長で環境経済学者の仁連孝昭名誉教授による基調講演をいただいた後、NPO法人アグリコミュニティ千歳理事長の藤田和徳様、千歳市観光スポーツ部観光企画課の松原崇人様、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員の高梨琢磨様、本学の山林由明教授より、関係する研究開発の事例や現代社会が抱える課題などについてご講演いただきました。その後は、持続可能な経済活動の視点から農業とインバウンドの活用にあたって、千歳市の現状と課題について、熱く議論されました。



第2回

8月4日(日)に「オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにごい!! 身近な生き物たち」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、千歳市や札幌市の小中学生11名(募集定員10名)と保護者が参加して公立千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などで昆虫採集や標本作成を行いました。

まずは大学周辺で北海道大学総合博物館の大原昌宏先生から昆虫採集の仕方や注意事項について教えていただきながら蝶々を中心に採集しました。また、千歳湖周辺には事前に本学の学生が仕掛けておいたトラップでカナブンを中心とした甲虫を採集しました。

午後からは、自分たちが採集した昆虫で標本を作製しました。木の板やコルク板などの材料を自分たちで組み立てて展翅板(てんしばん)を作り、大原先生らに教わりながら甲虫やバッタ、蝶々や蛾などの標本を作成しました。皆さん、2時間以上も集中して取り組んでいました。持ち帰った標本は、2～3週間後には、乾燥し飾れるようになります。参加した皆さんからは、「ぜひ来年も参加したい!」「高校生向けの講座も開催してほしい」という声をいただきました。



オープンサイエンスパーク千歳は、スマートネイチャーシティ(SNC)ちとせ事業の一環として実施しています。

公開講座を開催しました

第1回

今年度第1回目となる公開講座を6月22日(土)に開催しました。教職課程 宮嶋衛次教授により「簡単な実験で学ぶ地球の科学」と題して、参加者の皆さんには、地震・火山・気象などについてたくさんの実験を体験していただきました。身近にある物を利用した実験をしながら、その仕組みを理解したり、様子を観察したり、苦労しながらも皆さん、楽しそうに参加してくださいました。また、参加者の皆さんからは、日頃疑問に思っていることなど、たくさんの質問があり、科学的な実験と説明で理解を深められたようでした。当日は、16名がご参加くださいました。

【第1回公開講座内容】

- 日時:2019年6月22日(土)13:30～16:00
- 会場:千歳市総合福祉センター 3階 307号室
- 講師:理工学部 教授 宮嶋 衛次
- 演題:「簡単な実験で学ぶ地球の科学」



第2回

第2回目となる公開講座を8月31日(土)に開催しました。共通教育担当 山下文講師により「歌人たちの“見た”桜—うたことばとその本意—」と題して古今和歌集を中心に、その時代を取り巻く気候変動、植生遷移、歴史などを織り交ぜつつ、歌人たちがどのように桜を“見た”のかについて解説を行いました。また、講座終了後も和歌について熱心に質問する参加者の姿が見られました。参加者の皆さんからは、「“本意”の意味が面白かった」「桜の花が大好きなので、大満足です」など感想をいただきました。当日は、19名の皆さんがご参加くださいました。

【第2回公開講座】

- 日時:2019年8月31日(土)14:30～16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 講師:理工学部 講師 山下 文
- 演題:「歌人たちの“見た”桜—うたことばとその本意—」
- 講演内容:春の代表花「桜」を、平安時代の和歌を中心に歴史・植生遷移・気候変動を合わせ解説



2019年度eカレッジ講習会と プログラミング教室を開催しました

千歳市教育委員会が窓口となり実施している「eカレッジ」事業では、千歳市内小中学校の生徒を対象に、本学で開発している「eラーニング(電子学習)システム」の利用を推進しています。6月16日(日)、今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生(希望者)と保護者を対象に、このシステムの使用方法などについて解説する「eカレッジ講習会」を本学で実施しました。

当日は、71人の小学生とその保護者や兄弟などが参加しました。当初の予定をはるかに超える人数であったため、2つの教室を使用し、同時講義を行いました。まずは、パスワードなどを入力し、システムにログイン。算数や理科の教科書を見たり、演習問題を解きながら、使い方を覚えていきました。これからは家庭学習などにeラーニングシステムを大いに活用していただきたいと思います。また、eカレッジ講習会終了後、希望者に対し「プログラミング教室」を実施しました。こちらにも、当初の予定数を大幅に超える参加がありました。ゲームのキャラクターを自分が思うように動かすには、どのような命令をどんな組み合わせで与えれば良いか考える教材でしたが、みなさん苦労しながらも、少しずつ難しくなっていく課題をどんどんクリアしていきました。今回の講習会では、例年よりもはるかに多くの皆さんに参加いただき、小中学生や保護者の皆様のeラーニングやプログラミング教育への関心の高さをうかがわせました。

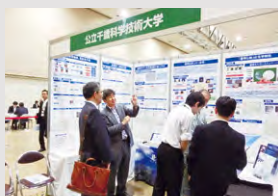
【2019年度eカレッジ講習会およびプログラミング教室 内容】

- 日程:6月16日(日)13:00~16:00
- 場所:公立千歳科学技術大学 G201、G202(コンピュータ教室)
- 講師:公立千歳科学技術大学 情報システム工学科
専任講師 山川 広人
- 対象:今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生と
その保護者



北洋銀行ものづくりテクノフェア2019に 出展しました

7月25日(木)、アクセスサッポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2019」にNPO法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と合同で出展しました。本学のブースでは、応用化学生物学科 谷尾宣久教授による透明ポリマー材料の研究について紹介しました。当日はたくさんの方がお立ち寄りくださり、谷尾教授の説明に興味深く聞き入っていました。また、本学も参画している「ナノテクノロジープラットフォーム事業」のブースでは、ナノテクノロジープラットフォームセンター、北海道大学、本学の3者合同で出展し、事業の概要や支援内容について説明しました。フェア当日は、出展者(225社・団体)、来場者(約4,600名)と大盛況でした。



安平町、恵庭市、苫小牧市の 中学校3校の生徒さんが本学を見学しました

安平町立早来中学校

7月8日(月)、安平町立早来中学校1年生の皆さん33名が、校外体験学習の一環で本学を訪れました。まず、皆さんで記念撮影をしたあと、本部棟の大講義室、コンピュータ教室、図書館などの施設を見学しました。そのあと、大学の食堂で昼食をとりました。昼食後は、研究・実験棟に移動し、電子光工学科 長谷川誠教授と理工工場の学生による、大学の紹介と理科実験講義を受けました。講義では、クリップモーターについて学習しました。中学1年生ではまだ習っていない単元ですが、どうすればよく回るモーターを作れるのか皆さん一生懸命考えて作成していました。



恵庭市立恵庭中学校

7月9日(火)、恵庭市立恵庭中学校3年生の皆さん28名が、「進路学習(自己の生き方探求)」をテーマとし、本学で大学訪問学習を行いました。はじめに3班に分かれ、研究室などを見学しました。生き物の目に見えない小さな構造を利用した「すごい機能」について研究している平井研究室では、昆虫などのサンプルを使用して、その「すごい機能」について学生が分かりやすく説明してくれました。UNITYを使ったVR、ARについて研究している村井研究室では、全員がヘッドマウントディスプレイでVR体験をしました。理工工場の学生指導のもと、偏光板を使った簡単な実験体験を行いました。どの研究室でも皆さん積極的に質問し、熱心にメモをとっていました。研究室見学のあとは、実験室に集まり、長谷川教授と理工工場の学生による、大学紹介と理科実験講義を受けました。講義では、クリップモーターについて学習しました。中学3年生ということで、それぞれの進路を考える時期と思いますが、何かヒントになれば幸いです。



苫小牧市立青翔中学校

7月18日(木)、苫小牧市立青翔中学校2年生の皆さん43名が「上級学校(大学)訪問」として本学に訪れました。当日は研究実験棟の学生実験室において、理工工場の長谷川教授による理科実験と大学紹介の講義を受けました。理科実験ではクリップモーターについて学習し、グループごとに分かれ、どうすればモーターが良く回るか、皆さん一生懸命考え、工夫を凝らしながら実験を楽しんでいました。今回の実験と講義の通じて、中学生が大学に興味を持ち、身近な場所に理工系大学があることに気づいていただけると幸いです。



東北地区で個別大学説明会を開催しました

東北地区で個別大学説明会を開催しました。この説明会は、高校生・保護者・高校教員を対象に、青森市、八戸市、秋田市、盛岡市、仙台市の5会場で開催され、アドミッションセンター教員より、大学紹介ならびに2020年度以降の入試制度概要について説明を行いました。参加された高校生や高校教員からは、入試制度について理解する機会となり有意義であったとの声が多く寄せられました。各会場の詳細は以下のとおり。

- 5月13日(月)盛岡会場 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
- 5月18日(土)青森会場 リンクステーションホール青森
- 5月20日(月)仙台会場 アエル
- 6月10日(月)八戸会場 プラザアーバンホール
- 7月18日(木)秋田会場 アルヴェ



5月18日青森会場



5月20日仙台会場

2020年度入試日程

試験種別		出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間
一般入試	前日程	2020年 1月27日(月)～2月5日(水)	2020年 2月25日(火)	2020年 3月6日(金)	2020年 3月9日(月)～3月13日(金)
	公立大学* 中日程	2020年 1月27日(月)～2月5日(水)	2020年 3月8日(日)	2020年 3月23日(月)	2020年 3月23日(月)～3月27日(金)
AO (アドミッション・オフィス) 入試		2019年 9月2日(月)～9月13日(金)	本学HPまたは学生募集 要項を参照してください。	2019年 11月13日(水)	2019年 11月14日(木)～11月22日(金)
推薦入試 ・推薦A(千歳地区) ・推薦B(全国)		2019年 11月8日(金)～11月18日(月)	2019年 11月30日(土) 12月1日(日) ※出願者数により、 11月30日(土)の1日で 実施する場合があります。	2019年 12月11日(水)	2019年 12月12日(木)～12月20日(金)

*公立大学中日程の志願者数が募集人員の10倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。2段階選抜を実施する場合、第1段階選抜の結果は2月20日(木)に発表します。

インターネット出願について



一般入試(前日程・公立大学中日程)の出願は、すべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、ATMでお支払いいただくことが可能です。詳しくは本学ホームページをご覧ください。

財務情報

貸借対照表

平成31年3月31日

【資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,078,921	9,362,527	△ 283,606
有形固定資産	5,503,322	5,631,216	△ 127,894
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	1,891,671	1,942,454	△ 50,783
その他の有形固定資産	616,635	693,746	△ 77,111
特定資産	3,480,890	3,725,901	△ 245,011
その他の固定資産	94,709	5,410	89,299
流動資産	1,298,243	1,261,218	37,025
現金預金	1,090,671	1,228,310	△ 137,639
その他の流動資産	207,572	32,908	174,664
資産の部合計	10,377,164	10,623,745	△ 246,581

【負債の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	0	143,971	△ 143,971
流動負債	357,650	412,595	△ 54,945
負債の部合計	357,650	556,566	△ 198,916

【純資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	10,257,979	10,961,427	△ 703,448
第1号基本金	10,144,182	10,847,630	△ 703,448
第4号基本金	113,797	113,797	0
繰越収支差額	△ 238,465	△ 894,248	655,783
翌年度繰越収支差額	△ 238,465	△ 894,248	655,783
純資産の部合計	10,019,514	10,067,179	△ 47,665
負債及び純資産の部合計	10,377,164	10,623,745	△ 246,581

活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

(単位:千円)

科目		金額	科目		金額
教育活動による資金収支	収入		その他の活動による資金収支	退職給与引当特定資産取崩収入	143,971
	学生生徒等納付金収入	1,196,109		研究特定資産取崩収入	2,997
	手数料収入	46,839		預り金受入収入	293,572
	特別寄付金収入	6,297		立替金回収収入	0
	経常費等補助金収入	180,721		小計	440,540
	付随事業収入	78,942		受取利息・配当金収入	25,671
	雑収入	172,898		過年度修正収入	4
	教育活動資金収入計	1,681,806		その他の活動資金収入計	466,215
	支出			退職給与引当特定資産繰入支出	0
	教育研究経費支出	415,252		研究特定資産繰入支出	1,410
管理経費支出	191,652	預り金支払支出	289,325		
教育活動資金支出計	1,700,352	立替金支払支出	4,245		
差	△ 18,546	小計	294,980		
調整勘定等	△ 254,437	過年度修正支出	1,105		
教育活動資金収支差額	△ 272,983	その他の活動資金支出計	296,085		
科目	金額	差	引	170,130	
施設設備寄付金収入	40	調整勘定等	0		
施設設備補助金収入	0	その他の活動資金収支差額	170,130		
減価償却引当特定資産売却収入	0	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 137,639		
減価償却引当特定資産取崩収入	594,346	前年度繰越支払資金	1,228,310		
施設整備等活動資金収入計	594,386	翌年度繰越支払資金	1,090,671		
施設関係支出	22,313				
設備関係支出	130,158				
減価償却引当特定資産繰入支出	494,892				
施設整備等活動資金支出計	647,363				
差	△ 52,977				
調整勘定等	18,191				
施設整備等活動資金収支差額	△ 34,786				
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 307,769				

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。(単位:千円)

【収入の部】 (単位:千円)				
科目	予算	決算	差異	
事業活動収入				
学生生徒等納付金	1,235,334	1,196,109	39,225	
手数料	41,306	46,839	△ 5,533	
寄付金	8,000	6,297	1,703	
経常費等補助金	199,765	180,721	19,044	
国庫補助金収入	199,684	180,624	19,060	
地方公共団体補助金収入	81	97	△ 16	
付随事業収入	63,050	78,942	△ 15,892	
雑収入	169,006	172,898	△ 3,892	
教育活動収入計	1,716,461	1,681,806	34,655	
事業活動支出				
人件費	966,983	949,477	17,506	
教育研究経費(内減価償却額)	539,882	545,652	△ 5,770	
管理経費(内減価償却額)	217,635	204,431	13,204	
徴収不能額等	0	6,636	△ 6,636	
教育活動支出計	1,724,500	1,706,196	18,304	
教育活動収支差額	△ 8,039	△ 24,390	16,351	
収入の活動				
受取利息・配当金	26,503	25,672	831	
教育活動外収入計	26,503	25,672	831	
支出の活動				
借入金等利息	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	26,503	25,672	831	
經常収支差額	18,464	1,282	17,182	
特別収入				
資産売却差額	0	0	0	
その他の特別収入	0	4,431	△ 4,431	
特別収入計	0	4,431	△ 4,431	
特別支出				
資産処分差額	0	52,273	△ 52,273	
その他の特別支出	0	1,105	△ 1,105	
特別支出計	0	53,378	△ 53,378	
特別収支差額	0	△ 48,947	48,947	
予備費	(513)	9,487	9,487	
基本金組入前当年度収支差額	8,977	△ 47,665	56,642	
基本金組入額合計	△ 16,173	0	△ 16,173	
当年度収支差額	△ 7,196	△ 47,665	40,469	
前年度繰越収支差額	△ 894,248	△ 894,248	0	
基本金取崩額	0	703,448	△ 703,448	
翌年度繰越収支差額	△ 901,444	△ 238,465	△ 662,979	
事業活動収入計	1,742,964	1,711,909	31,055	
事業活動支出計	1,733,987	1,759,574	△ 25,587	

資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。(単位:千円)

【収入の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,235,334	1,196,109	39,225
手数料収入	41,306	46,839	△ 5,533
寄付金収入	8,000	6,337	1,663
補助金収入	199,765	180,721	19,044
国庫補助金収入	199,684	180,624	19,060
地方公共団体補助金収入	81	97	△ 16
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	63,050	78,942	△ 15,892
受取利息・配当金収入	26,503	25,672	831
雑収入	169,006	172,902	△ 3,896
前受金収入	227,783	165,520	62,263
その他の収入	698,727	1,054,775	△ 356,048
資金収入調整勘定	△ 420,633	△ 454,452	33,819
当期資金収入合計	2,248,841	2,473,365	△ 224,524
前年度繰越支払資金	1,228,310	1,228,310	0
収入の部合計	3,477,151	3,701,675	△ 224,524
【支出の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,110,954	1,093,448	17,506
教育研究経費支出	413,659	415,252	△ 1,593
管理経費支出	205,470	192,757	12,713
施設関係支出	25,680	22,313	3,367
設備関係支出	139,739	130,158	9,581
資産運用支出	192,641	496,302	△ 303,661
その他の支出	367,969	432,836	△ 64,867
予備費	(2,349)	12,651	12,651
資金支出調整勘定	△ 70,064	△ 172,062	101,998
当期資金支出合計	2,398,699	2,611,004	△ 212,305
翌年度繰越支払資金	1,078,452	1,090,671	△ 12,219
支出の部合計	3,477,151	3,701,675	△ 224,524



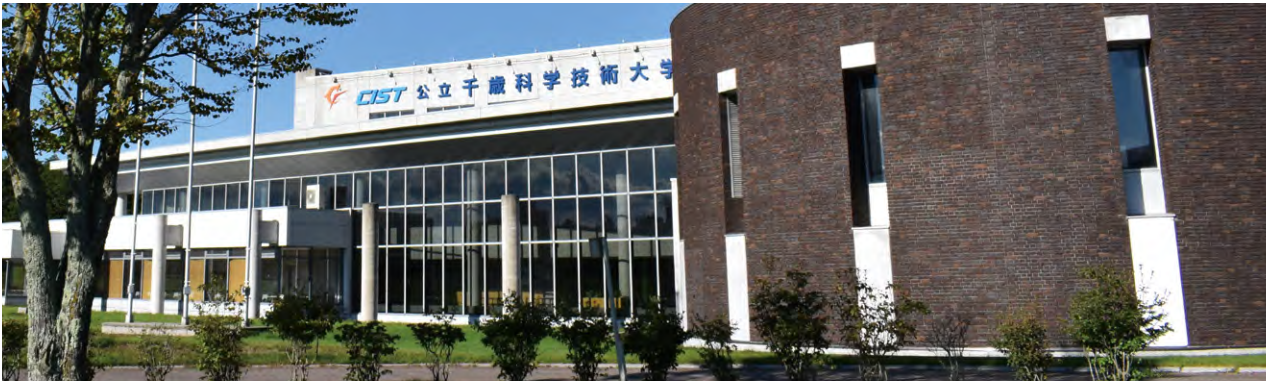
6月8日／開学20周年記念式典にて式辞を述べる山口千歳市長



5月27日／本学学部1年生へ講義「千歳学」を行う山口千歳市長



本学研究棟前の花壇が『第32回花いっぱいコンクール花壇部門中学校等の部』において最優秀賞を受賞



公立化に伴い本部棟の校名看板が新しくなりました



8月4日／オープンサイエンスパーク千歳より

本学へのご寄附のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

◀カーギー

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter、Instagram どちらもIDは@cistkoho で検索ください。

TwitterとInstagramで情報発信中!

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram